

## ケアラー支援に係る実態調査

## 調査票（高齢版・障がい版）のプレテスト結果

No.	意見・要望等	対応
	<b>* 調査票全体に関すること</b>	
	1つの設問でページをまたぐと回答しづらい。また、全体的に調査票の様式を見やすくしてもらいたい。	可能な限りページをまたぐことのないよう工夫した。 また、文字の強調や改行の挿入等により、見やすさに配慮した。
	<b>* 表紙</b>	
	道庁という組織を「道」と表記することは、わかりづらい。行政機関であることが一目でわかるような書きぶりにしてもらいたい。	「道庁」で統一した。
	<b>(2) 年齢</b>	
	18歳未満はヤングケアラーに位置付けられるため、「年齢」の選択肢に含めないことが望ましい	「18歳未満」の選択肢は削除した。
	「年齢」の選択肢のうち高齢者の区分については、前期・後期の2区分でなく、「65～74歳」「75～84歳」「85歳以上」の3区分とすることが適当（設問(7)も同様）	左記の趣旨を踏まえて3区分とした。
	<b>(5) ケアラーと介護等を必要としている者との続柄</b>	
	「父母」という選択肢は、実父母に限られるような印象を受ける。家族介護の実際として、義父母の介護を行っている家庭も少なくないので、回答漏れとならないよう工夫してもらいたい。	義理の関係などを含む旨を明記した。
	<b>(8) 介護等を必要とする理由</b>	
	「それ以外の病気」と「その他」の違いがわからずに迷ってしまったので、いずれか1つとしてもらいたい。	「その他」の選択肢に一本化した。
	選択肢に「重症心身障がい」「医療的ケア」を加えてもらいたい。	左記の趣旨を踏まえて選択肢を追加した。
	<b>(12) ここ1ヶ月における最長の介護時間</b>	
	どの程度介護を行っているかはわかるものの、何時間というような時間数までは覚えていないため、「わからない」という選択肢を設けてもらいたい。	左記の趣旨を踏まえて選択肢を追加するとともに、設問の文章がわかりやすくなるよう修正した。
	<b>(13) 介護に関する悩み</b>	
	〈あなた自身〉に関する悩みについて、選択肢に「社会参加ができない」「自分自身の時間が取れない」「相談する人がいない」を加えてもらいたい	左記の趣旨を踏まえて選択肢を追加した。
	<b>(19) サービス利用の契機</b>	
	選択肢のうち「役所」については、(26)と同じように「市役所や町村役場」で揃えておくことが妥当。	左記のとおり選択肢の記載ぶりを統一した。
	<b>(21) サービスを利用していない理由</b>	
	サービス・支援に繋がっていないケースは、経済的な理由によることが多い実態を踏まえ、「費用負担の心配がある」といった選択肢を追加してもらいたい。	左記の趣旨を踏まえて選択肢を追加した。
	<b>(22) サービスを利用することへの抵抗感</b>	
	同上	同上
	<b>(27) ケアラーにとって必要な支援</b>	
	一般論としてケアラー支援には何が必要と考えるかを問いたいのであれば、設問の書き出しは「お世話をしている人を支えるためには」などと簡潔にすべき。	左記の趣旨を踏まえて設問の文章を修正した。
	<b>(37) 今後の暮らし向き</b>	
	家族介護者は、将来の見通しが立たないことを不安に思っている場合が多く、この設問は重要だと思うが、そうした心情を他人に知られたくないと考えているケースもあるので、(36)の「現在の暮らし向き」と同様、「答えたくない」の選択肢を設けることしたい。	左記の趣旨を踏まえて選択肢を追加した。

※ 上記設問Noは、高齢版のもの